

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			学習支援や創作活動等、プログラムの内容に応じてスペースを分けて行えるように環境設定を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童指導員2名、保育士1名を常勤配置している。また、公認心理師4名の専門職種の配置も行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		児童の活動スペースに段差をなくし、階段とトイレに手すりを設置する等のバリアフリー化を行っているが、トイレの入り口箇所においてのみ10cmの段差がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			事業所向け評価表を用いて、保護者の意見を反映した業務改善案を、随時職員が確認を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者等向け評価表の実施や保護者からの要望を基に、プログラムの内容を調整したり、会報の発行、児童への対応について職員で話し合いを行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価の結果をホームページ上で公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	行われていないが、第三者委員会を設置する準備を進めている。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			虐待防止研修や人権擁護研修をはじめ、職員研修を定期的実施し、出席できなかった職員には個別で担当者が実施して資質の向上に努めている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			全児童に対して、心理アセスメントや保護者や学校からの聞き取りを行い、関係機関からの資料による情報や活動時の様子を踏まえて職員で話し合っ計画を立案している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			公認心理師が、全件実施を行った。一度行ってから時間が経過した児童については、様子を見て再度適切なアセスメントを行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎日のミーティングで日案、週案、月案を確認し、活動プログラムの内容を調整しながら運営している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			保護者からの要望も踏まえて新たな活動プログラムを考案したり、児童が惹きつけられる内容を日々追求している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			社会科見学等の事業所外での活動を長期休暇の際には予定しているが、今年度も実施できていない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			活動時の児童の様子や保護者からの情報、を踏まえて職員間で話し合っモニタリングを行い、個別性に応じて計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝のミーティングで、一日のプログラムの流れや内容全般の確認を行い、支援開始前のみならず、必要に応じて細かい打合せを職員間で随時行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後にミーティングを行い、利用児童全員の活動時の様子の共有、支援の振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			サービス提供記録のみならず、活動時の様子を個別にまとめた記録を作成し、支援計画の作成時等に役立っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月に一度の間隔や、状況の変化に応じて定期的に個別支援計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		学習支援や創作活動、余暇活動、集団プログラムに加えて、調理や英語学習、情報、運動のプログラムを取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者にも協力をさせていただきながら、1週間の予定や年間予定、その他連絡事項を把握するように情報交換を行っている、学校とも適宜連絡を取って情報を共有するよう努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現状、医療的ケアを必要としている児童の利用はない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		引継ぎが行えるケースにおいては、公認心理師をはじめ担当者がしっかりと行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	本事業所から障害福祉サービス事業所等に移行し、移行したケースがまだないので、機会があれば管理者と公認心理師が対応するようにしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	機会があれば、適宜参加をして研修を受け、その内容を踏まえて事業所内で職員研修も行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	過去、長期休みに参加したが、学童の大人数と活動・交流することは利用児童には難しく、利用児童の戸惑いが大きかったので、現在は交流を見合わせている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			開催された自立支援協議会や子育て支援連絡会には欠かさず担当の職員が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			利用時のサービス提供記録での文面でのやり取りのみならず、送迎時に直接様子を伝えたり、電話による連絡、要望に応じて面談の機会を設けている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			児童との関わりにおいて、家庭内で何か困ることがあれば相談を随時受けつけていることは周知徹底している、過去には定期的に面談を行ったケースもある。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			放課後等デイサービスに係る内容を丁寧に説明し、インフォームドコンセントが得られた上で契約できるように努めている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			家庭内や学校での様子から保護者より子育てに関する相談を受け、電話や面談の機会を設けて支援を実施している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	実施についてのご意見も頂く一方で、利用児童の内、数名は自身の障害のことを公表していないこともあり、コロナ禍で開催も難しいため十分に行っていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			管理者が担うことを事業所内で掲示し、契約時にもその旨を伝えており、会報でも取り上げている。対応の体制についても多くの家庭から迅速かつ適切に対応していると評価を受けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			事業所内での活動の様子を報告するためにクレーク通信を定期的に発行している、また、必要に応じて個別に保護者と連絡を取り合って情報共有も行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報保護研修も行き、重要書類は施錠できるロッカーにて保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			PECS、保護者用に別途作成した書類を用いる等、意思疎通がしやすい体制を取っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域住民を招待する等、交流を持てるような催しは開催していない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	職員にはマニュアルを用いて、定期的に周知しており、保護者には契約時に詳しく説明を行い、会報でも伝えている。いいえの方は居られないが、「どちらともいえない」が半数近くになっており、再
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			非常事態の状況を想定した避難訓練を年2回は実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内で虐待防止研修を実施するだけでなく、施設従事者向けの研修等、外部の研修にも参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	現状、身体拘束を行うケースはないが、身体拘束に係る内容について人権擁護研修の際に扱い、職員に周知している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	利用児童のアレルギーの有無を把握した上でおやつ提供、調理プログラムの運営をするよう努めているが、特に注意して対応する必要のある
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例集を作成し、ファイリングをして管理している。また、適宜内容を共有するようにしている。